

って感じるし、(目標が)現実的だなって思った。
女子の目標についてなんだけど、女子は「関カレの位入賞40点以上」というのを掲げていて、40点取れば8位に入れるんだよね。陸上ランキングからみんなのベストを割り出して、得点換算してみた時に、みんながJTB出せたとすると6点取れることになる。ちょっと高い目標だけど、こういう目標に設定しました。みんなJTB出せると思ってるので、いけると思う。

——この目標を聞いたところで、この目標を達成するためにどのような主将でありたいか、目指す主将像や意気込みについて聞かせてください。

豊嶋…なかなか難しいなあ。いくつか主将としてのあるべき姿はあると思うんだけど、僕が一つ実現可能かなって思うのは「競技の姿勢」かなって思うし、目指すとすればここが現実的かな。背中で引っ張っていきけるような主将でありたいと思ってる。

そのために、今年の冬季は弱音を吐かないようにしてるし、途中であきらめないようにしてる。目標に向かうにあたって、僕一人の力では達成することはできないので、達成できるようにブロック長毎に各ブロックを引っ張ってってもらっているんだけど、ブロック長には自分の競技にもっと集中できるように、主将として気を使っているつもり。まずは自分の競技ありきでブロックを見られるように主将としては頑張っているつもりです。

山口…私は逆に背中で引っ張っていくことができないので、みんなを見守れるような主将になりたい。でもやっぱり競技に対する姿勢は一番部員の眼に映ることなので、練習での姿勢は気をつけているけど、やっぱり弱音は吐いてしまう…。

反省から入ってしまったって申し訳ないんだけど、「周りを見れる」ようになりたい。主将に選んでもらった理由の一つに「人望がある」って言うてくれて、みんなを気遣える人になりたいから、声掛けを大切にしている。みんなが達成感をもてるような、自信がつくような声掛けを意識している。

目指す主将像は「みんなが気兼ねなく相談してくれる」ようになりたい。りくが引っ張っていくのを後ろから支えていけるような、でもりくがずっと引っ張っていくのは辛いから、時には変わってあげられるように考えていて。でもこうやって言うてるけど、できていないところがたくさんあって、そこは3年生のみんなに支えられている。これからは支えるだけではだめだと思って、自分の意見をしっかり持って引っ張っていかれたらなって思います。長くなってごめんなさい。

——二人でこんな感じで目指す主将像について話し合ったことってあるんですか？

山口…私はりくが引っ張っていく感じかなと思ってた。なんていうか、寡黙じゃん？

豊嶋…クールぶってるだけよ(笑)

山口…でも何となくわかる、同じ学科だし！でもりくの外面しか知らないから、なんか、こう熱い思いを持っているけど、弱いんだってのは最近分かってきた。もっと強い人なのかなと思ってた。

豊嶋…そう、メンタルだけはめちゃくちゃ強いんだけど、ダイヤモンドみたいなのあるよな？

山口…どういこと???(笑)

豊嶋…いやなんか、めっちゃ硬いけど、叩けば割れるみたいな。

あんまり感情を外に表さないタイプなんだよね。でも最近感情をできるだけ表に出すようにしてます。後輩が良いタイムで走ってきたら、走り終わった後に「速いな」って言ってます。まあ、こういう一言から始まるんだろうなって思う。

山口…りくは自分の中で意見をしっかり持っているから、私もしっかり意見を持って、しっかり言っていかなきゃって思うようになった。